

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 5 番

氏名 川上 幾雄

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

## 発言項目及び要旨

## 1 鳥獣被害対策について

## (1) 被害防止のための施策について

野生鳥獣による農作物被害や人的被害は依然として減少する気配は見えず、高い被害金額は農業への意欲を減退させ、民家近くへ出没する熊や猪は不安感を募らせるばかりです。

- ① 被害防止のための捕獲権限は浜田市に有るのか。
- ② 被害対策実施隊はどのように構成するのか。

## (2) 鳥獣被害防止特措法について

- ① 今後必要な措置をどのように行うのか。

## 2 畜産（養豚）について

## (1) 畜産（養豚）における伝染病対策について

豚熱は豚熱ウイルスにより起こる豚、猪の熱性伝染病で、強い伝染力と高い致死率が特徴と言われ、浜田市では今だ罹患した猪は発見されていないと聞いているが対策は必要と思う。

- ① 豚熱の養豚へ与える影響はどのようなものか。
- ② 罹患する要因はなにか。
- ③ 対策はどのようになっているか。

## 3 地籍調査について

## (1) 地籍調査の必要性について

国も地籍調査が「なぜ今必要なのか」と表明している通り、「人証」や「物証」が失われ、時間が経過すればするほど調査が困難になる。

- ① 地籍調査をしないと起きる問題とは何か。
- ② 調査により生まれる不公平感の理由はなぜか。
- ③ 調査が進行しない要因は何か。

## (2) 今後の地籍調査について

- ① 年毎に予算が減額されている、減額で調査が進むのか。
- ② 住民と接する場面が多い。担当職員への教育はどうしているのか。



発言No. 8

受付No. 17

令和3年8月24日

10時42分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 1 番

氏名 三浦大紀

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1 浜田市のブランディングについて

市民および移住検討者に選ばれ続けるための活動がブランディングであり、目指す姿の明確化、コミュニケーション効率の向上およびその費用削減効果など、当市においても必要な取り組みであることは明らかである。現在、次期浜田市総合振興計画・総合戦略の策定作業中であり、その状況や策定に関する考え方等について以下質問する。

①次期浜田市総合振興計画の策定におけるポイントは何か。

②浜田市のブランディングをどう考えているか。



発言No.

9

受付No.

5

令和 3 年 8 月 23 日  
10 時 40 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 19 番

氏名 田畑 敬二

答弁を求める者 ○市長 教育委員会委員長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 旭地域協議会との意見交換について

- ① 浜田市には、棚田 100 選に選ばれた棚田が、三隅の室谷の棚田、都川の棚田で 2 か所あるが現状を伺う。
- ② 両棚田の棚田面積と耕作放棄地面積を伺う。
- ③ 都川の棚田は畦畔が石積であり、耕作が放棄されることによって畦畔が崩落すると考えるが所見を伺う。
- ④ 両棚田とも、耕作条件が大変悪く、都川地区は高齢化率が 70%以上になり、棚田における耕作放棄地が拡大し、地域の景観等が損なわれ、地域が崩壊すると考えるが所見を伺う。
- ⑤ 耕作条件の不利地域に対して、面積割等や苗代の一部等の補助を検討する考えはないか伺う。
- ⑥ 地域の道路河川の環境整備について伺う。



発言No.

10

受付No.

7

令和3年 8月 24日

8時 24分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 20 番

氏名 西田清久

答弁を求める者  市長  教育長  監査委員  選挙管理委員会委員長  
(○をつける)  農業委員会会長  固定資産評価審査委員会委員長  公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 周布橋の復旧について

- ① 通勤、通学など市民生活に欠かせない周布橋が、令和3年8月豪雨の影響で橋げたの一部が下がり、現在通行止めとなっているが、早急に復旧させるための市の考えを問う。

#### 2 浜田市のテレワーク（リモートワーク）やワーケーション推進の考え方について

- ① 新型コロナウイルス感染症の拡大や線状降水帯などによって毎年各地で起こる集中豪雨や自然災害により、人々の生活や仕事の形態が変わらざるを得ない現状がある。浜田市においても増加する空き家、空き店舗や空き公共施設の活用と温泉や伝統芸能、郷土料理、里山文化など地域資源を活かしたテレワークやワーケーションの推進について考えを問う。

#### 3 人材育成の考え方について

- ① 少子化、高齢化、人口減少により、どの産業分野においても、生活地域においても人材不足、マンパワー不足は否めない。人口減少対策は多くの地方自治体が行っており、自治体間の特典競争による人材の引き合いにも限界があるし、長い目でみると効果がどこまで上がっているのか検証も不透明な感がある。そうすると人口を増やすという視点から人材を育てるという視点に主眼を切り替えてみてはどうかと思うが、所見を問う。
- ② 浜田市には、バランスのとれた豊かな自然環境や、誇れる歴史・文化・伝統産業などお宝資源は多い。将来の浜田市を担い、新たなまちづくりのパイオニア人材を育むための「人材育成都市宣言」を全国に先駆けて発信してはどうか。また、子どもから高齢者全ての市民の権利と役割を明記した（仮称）「人材育成都市条例」を検討してはどうか問う。





発言No. 11

受付No. 4

令和3年8月23日

9時00分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 24番

氏名 牛尾 昭

答弁を求める者

市長  教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長  固定資産評価審査委員会委員長  公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1. コロナ禍の市長のリーダーシップについて

(1) 支援策に対する業界の評価の認識について

- ① 会議所・商工会の市長評価の認識を伺う。
- ② 上記に属さない業界の市長評価の認識を伺う。

(2) 市民保護の観点から市長の姿勢に対する市民評価の認識について

- ① 市長緊急メッセージの市民評価の認識を伺う。
- ② 市民が求めている情報の認識を伺う。

### 2. 市有財産の有効利用について

- (1) 城山入口付近の駐車場の利用について
- (2) 市営住宅の有効利用について

### 3. はまだ市民一日議会での問題点について

(1) テーマ「誰もが安全で安心できる暮らしについて」の指摘について

- ① 美川地区の通学路の安全確保について伺う。
- ② 統合後の校舎予定地の安全性について伺う。

(2) テーマ「浜田市と韓国の地方都市の共通点から考える新しい地方外交」の指摘について

